

さくらっ子

輝くこころ 輝くひとみ 輝くからだ

三春町立中郷小学校だより

No. 17

H30. 1. 12

発行責任者 校長 橋本一弥



本年もよろしくお願いたします！

新しい年を迎え、2学期も後半に入りました。冬休み中、事故やけがなく、有意義に過ごせましたことをとてもうれしく思います。保護者や地域のみなさんのご協力に心より感謝申し上げます。

戊年は様々ないわれがありますが、「しっかりと守る」あるいは「勤勉・努力」の意味がある年とも言われるようです。9日の冬休み明け集会では、「中郷小学校の伝統をしっかりと守るために、それぞれの学年に於いて先輩からしっかりと学び取って引き継ごう」、また、「学習ではしっかりと書く努力を続けて行こう」ということを呼びかけました。

さて、2年後の東京オリンピックのマスコットの選考が進んでいます。報道等でご承知のように、全国の小学校の児童に投票権が与えられ、学級で話し合って1票を投じることができるのです。本校にも学級数割り当てられましたので、それぞれの学級で話し合って決めてもらいました。決まった候補を本日の集会で発表してもらいました。その結果は次の通りです。

- ア・・・ 1票（1年）
- イ・・・ 4票（2, 4, 5, 6年）
- ウ・・・ 2票（なかよし, 3年）

早速、学校からインターネットを通じて投票しました。さあ、日本全国ではどんな結果になるでしょう。楽しみです。

この取組からも伝わるように、未来に向けて見通しを持たせたり、夢を持たせたりすることは、生きる元気や力につながります。年の初めの今の時期に、学校でも家庭でも未来につながる働きかけができればいいと感じます。

休みが明け早々に自主学習ノートを提出した児童が出ました。冬休みもがんばっていたのです。児童が提出したノートの表紙には、ご覧の写真のような決意が記されていました。自分自身に課題を課すことができるのは成長の証で、素晴らしいことだと思います。

福島県教育委員会では、家庭での学習を一層活性化させるために、「ふくしま『家庭学習』スタンダード」というパンフレットを作成しました。これは、学力の高い他県の例などを参考に、本県の児童の家庭学習も一層充実させようという取組の一環です。間もなく、各家庭に配付されますので、ご覧いただき、お子さんの家庭での過ごし方を見直したり、助言したりする資料として活用していただければと思います。

自主学習は効果が大きいので、ぜひ取り組ませ、継続させていきたいと考えます。自主学習は一つの例ですが、児童が取り組む目標をしっかりと決め、学校や家庭、地域がみんなであらゆる努力を積み重ねられる一年になるようにしたいものです。

学年のまとめの時期、児童は進学や進級に備えての大切な日々を過ごすこととなります。職員一同、力を合わせて指導にあたりますので、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

2020年東京五輪・パラリンピック 公式マスコット最終候補3作品

五輪

パラリンピック



2017/12/22 10:2



元気に通学

12日の中郷地区の登校時の気温は、氷点下7度。元気に登校する姿が輝いていました。

寒さに負けずに！



業間縄跳び

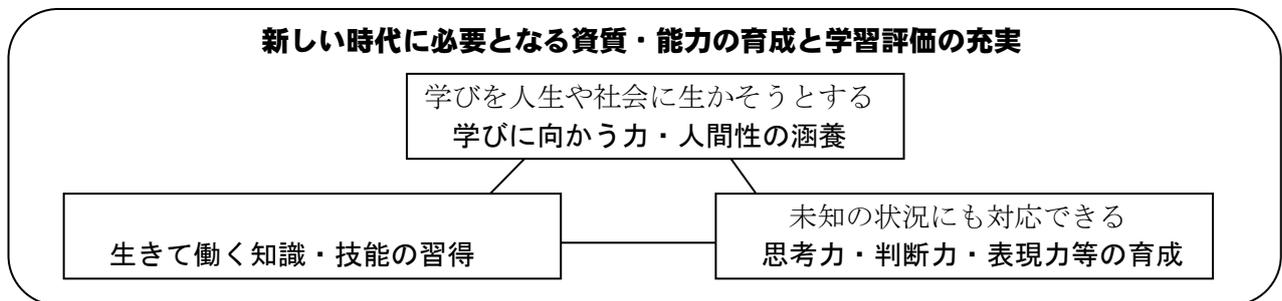
たてわり班で教え合いながら長縄に挑戦しています。記録会にて班対抗で対戦予定。

平成30年度の教育活動について①

学校では、平成30年度の教育活動の計画である「教育課程」を編成しています。今年度の反省をもとに改善していくことは勿論ですが、平成32年度から本格的に実施となる新学習指導要領に移っていく期間（移行措置期間）に入ることを踏まえ、これらの情報を確認しながら進めております。これまでもお知らせしているように、特別な教科となる道徳など、平成30年度に実施していく内容もあります。その情報や編成状況を今回から数回に分けてお知らせして行きたいと思えます。

第1回目は、新学習指導要領の方向性の全体像をつかんでいただきたいと思います。文部科学省で説明している図式を引用すると下記ようになります。これらの図やキーワードをよりどころに、日本全国の教育がまさに「バージョンアップ」されようとしているのです。

新しい学習指導要領が目指す方向性



○ 何ができるようになるか

よりよい社会を創るために学校と社会が目標を共有し、社会と連携・協働しながら、未来の創り手となるための必要な資質・能力を育む「**社会に開かれた教育課程**」の実現を目指していきます。

→ 地域や社会と共に歩む学校の「**カリキュラムマネジメント力※**」が重要になります

※教育活動や内容をよりよくコントロールする力

○ 何を学ぶか

新しい時代に必要な資質や能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直しが進められました。

→ 小学校の**外国語教育が教科化**されます

→ **道徳が特別な教科**となります

→ 学習内容の削減はありません

※平成30年度・31年度の2年間に移行措置が行われます

○ どのように学ぶか

上の図に示した力を育てる授業として、児童が一層思考し、判断し、表現する授業が重要です。

→ 「**主体的・対話的で深い学び※**」の実現が重要です

※「アクティブ・ラーニング」とよばれることもあります

今回は、「何を学ぶか」に関わって、次年度から始まる学習内容の移行措置についてお知らせします。